

平成 30 年度 個別事業評価調書

課名：	上下水道課	班名：	下水道班	担当者名：	松本 明久				
事業進捗状況・達成度	成果指標 (目標達成度を図るための指標)	名称・内容等		単位	29	30	1	2	3
		人口		人	27,000	26,500	26,400	26,300	26,200
		整備人口または接続人口	目標	人	8,100	7,700	7,800	7,900	8,000
			実績	人	7,656	7,569			
			達成率	%	94.5	98.3	0.0	0.0	0.0
		普及率	目標	%	30.0	29.0	29.5	30.0	30.5
			実績	%	28.5	28.5			
			達成率	%	95.0	98.3	0.0	0.0	0.0
		名称等		単位	29	30	1	2	3
		活動指標 (目標達成のために行う活動実績)	目標						
実績									
目標									
実績									
予算科目	04 款	02 項	04 目	02 大	00 中	00 小	00 細		
事業番号		00975 合併処理浄化槽設置整備費							
年度	平成29年度 (実績)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (予算)	令和2年度 (予算)	令和3年度 (予算)				
直接事業費	86,365	47,438	73,300	73,300	73,300				
国庫支出金	32,760	9,528	27,422	27,422	27,422				
県支出金	19,655	10,436	16,453	16,453	16,453				
地方債									
その他特財									
一般財源	33,950	27,474	29,425	29,425	29,425				
人件費	6,125	6,125	6,125	6,125	6,125				
職員	人	1,000	1,000	1,000	1,000				
	千円	6,125	6,125	6,125	6,125				
嘱託	人								
	千円	0	0	0	0				
事業費合計	92,490	53,563	79,425	79,425	79,425				

基本事項	事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	整理番号	
	根拠法令等		実施義務	
	総合計画区分	(3) 安全安心で環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～		
		<2>環境にやさしい老岐づくり		
③し尿処理・下水道の充実				
総合戦略区分	【3】安心・安全で住みやすい魅力あふれるまちづくり			
	②老岐市版CCRC構築プロジェクト			
	(3) 住まいの整備			
事業の対象・目的・内容	事業の背景 (課題・市民の要望等)	合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と生活排水を併せて処理することにより、公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付するものとする。		
	対象 (誰に、何に対して)	老岐市内に合併処理浄化槽を設置しようとする設置者。ただし、集合処理区域外。		
	目標達成のための具体的手段・方法	老岐市内の合併処理浄化槽を設置しようとする設置者に対し、設置工事費の一部補助。ただし、集合処理区域以外。		
	目的 (どのような状態にしたいのか)	浄化槽によるし尿の適正な処理を図り、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与する。		

【1次評価】

事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）		総合自己評価（所管部署）	
必要性	①市民ニーズや社会環境の変化に照らし、事業の必要性が薄れていないか。	A=薄れていない、B=一部薄れている、C=薄れている	判定	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施（見直しは行わない） <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止（隔年実施などへの変更） <input type="radio"/> D 廃止（終期の設定等を含む）	判断理由
	②事業を民間（NPO、市民、ボランティア等）に実施させることはできないか。	A=市以外での実施困難、B=一部民間で実施可能、C=民間で実施可能 不可能である。	A		
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や、環境の変化に適応しているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 適応している。	A		
有効性	④成果指標を達成するために、最適な事業内容となっているか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 合併処理浄化槽の整備のため、工事費の一部助成を行うことで、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与している。	A	今後の課題及び改善策、見直しの状況・方針 浄化槽設置の要望はあるが、景気の動向に左右されたり、高齢者や独居世帯においては、必要とされているが設置に至らない場合もある。また、浄化槽の機能について、設置者の周辺住民の認識不足があるため、浄化槽について正しく理解されるよう啓発に努める。生活環境の改善及び公衆衛生の向上を目指して更なる推進を図る。	<small>・総合評価で「見直し・改善を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事業の改善見直しを行うことにより予想される効果も併せて記入願います。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し（改革・改善、終期の設定など）を行っている場合は、その内容についても記載願います。</small>
	⑤事業対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか。受益者負担等は適切か。使用料等の見直しの余地はないか。	A=概ね適切、B=改善の余地あり、C=見直しが必要 公共下水道、漁業集落排水整備などの集合処理地域以外の者を対象としている。	A		
	⑥事業の効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 沓岐市独自の補助金嵩上や、県費補助金減額分を負担しており、財政的負担の見直しは困難である。	A		
達成度	⑦事業は当初計画どおり実施され、成果指標が達成されたか。 ※成果指標と連動させること	A=全ての指標達成、B=一部未達成、C=達成しなかった 景気の低迷、消費税の負担増により、設置要望者の数が伸び悩んでいる。	B	意見等	【2次評価】 総合判定 A 継続実施（特段の見直しは行わない）
効率性	⑧事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか。 ※活動指標と連動させること	A=得られている、B=一部得られていない、C=見直しが必要 現行の体制で努力している。	A		
	⑨必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか。	A=現行以上の手法はない、B=一部検討の余地がある、C=検討の余地がある 補助金交付要綱に沿って業務を行っている。	A	【外部評価】 総合判定 A 継続実施（特段の見直しは行わない）	
	⑩類似・重複した事業や国県施策はないか。組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか。	A=改善の余地はない、B=一部改善の余地がある、C=改善の余地がある 循環型社会形成推進交付金、長崎県浄化槽設置整備事業補助金を活用して事業を行っている。	A	意見等	活動指標に啓発活動を設定し、設置の必要性について、周知を行うこと。
判定平均点（3点満点） A=3、B=2、C=1、空白=0として換算			2.90		